

「トーヨー養父第二農場」におけるトマト定植開始のお知らせ

株式会社トーヨー養父農業生産法人は、2019年7月に完成したトーヨー養父第二農場（7月24日リリース）において定植を開始いたしましたのでお知らせいたします。

トーヨー養父第二農場は最新鋭の栽培技術の試験圃場を取り入れ、7,482㎡の敷地に建てた4,557㎡のトマトハウス施設です。

養父の冬の寒暖差で栄養をたっぷり蓄え、ヤシガラを培地に使用し養液灌水で栽培します。温度、湿度、CO2、日照、灌水、給液など作物に適した環境の自動制御をおこない、軒高を最後部7.05mと高くし誘引を垂直化することで太陽光を最大限に取り入れ、密植栽培を可能にします。5年目までに163tの収穫量と糖度12度を目標に生産いたします。

本ハウスでの栽培により生産規模や販路を拡大し、養父の厳冬を乗り越えた高糖度でコクのあるトマトを安定生産・安定品質での出荷を可能にすることで、養父市のブランドトマトを構築し、地元での知名度を上げます。



上：ハウス全景、下：ハウス内部定植した苗